

# 神之峰



令和4年4月19日 文責 降旗 敏昭

## やるき・げんき・こんき・ふるさと

先日は、授業参観日にご来校ありがとうございました。コロナ禍ということで、来校人数が制限され、校長講話が中止になり、PTA 総会も書面議決に変更されました。今回は、この場をお借りして、校長講話でお話する予定だったことに触れさせていただきます。

上久堅小学校の学校目標は、明治45年に「**向上心 耐久心 言堅行（当初は堅実行）**」と定められ、平成15年に、「**やるき げんき こんき**」と、子どもにもわかりやすい言葉になりました。言葉はわかりましたが、意味は全く一緒です。“やるきばりばり”“元気もりもり”、そして“大きな夢を持つ”子ども達に育ててほしいと願います。そしてもう一つ、“上久堅のことが大好きな子どもになってほしい”という願いをこめて、目標の1つに「ふるさと」をつけたしました。

【めざす子どもの姿】十三の郷の子どもたち 笑顔あふれキラキラ輝け 未来に向けて

○やるき 主体的に学び、共に考えることで、未来に生かせる生きる力を育む子どもたち

○げんき 心身ともに健康で明るく、自分も友達も大切にできる優しい子どもたち

○こんき 夢を持ち、自分の立てた目標に粘り強く取り組める子どもたち

○ふるさと 上久堅のことが大好きな子どもたち

## 子ども達全員を、すべての先生でみる！ 教科担任制の部分的導入！

全国的に少子化が進んでいる今、上久堅小学校も将来的に児童数が減少していきます。現状のままだと、令和7年度から一部の学年が複式学級となる可能性があります。（千代小は今年度から、千栄小は来年度から一部の学年で複式学級になる予定です）上久堅も、学校の在り方を今から少しずつ考えていかなければならない時期に来ています。

ではどうあるべきかと考えてみました。上久堅小学校は小さな学校であるため、地域と一体となった学校づくりができるという良さがあります。そして全職員が一人ひとりの子ども達の事がわかるという良さ、子ども達ひとり一人にたくさん関わられるという良さもあります。これは小さな学校の強みです。この強みを生かしていくことが、これからの上久堅小でより大切になっていくと考えました。そこで、4月初先生方に「子ども達全員を（担任になったつもりで）すべての先生で見たいこう！」とお願いしました。更に、今年度から理科・音楽・家庭科の3教科で、一部の学年で担任以外の先生が教える「部分的教科担任制」を取り入れました。（今後、小学校での教科担任制が広まっていきます。）体育・図工・音楽・英語の授業は今年度も連学年で授業を行います。色々な先生が子ども達と関わることで、色々な視点から子ども達の良さや学びの姿を見て取ることができます。子ども達は色々な先生に教わることで、色々な価値観を学び、視野が広がります。このような形で、上久堅の良さ、強みをいかした学校運営を行っていきます。保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。

## 学校の宝 メダカ池



今年の冬、用水路の工事の影響で学校のメダカ池のメダカが激減してしまいました。そこで堂平地区から、メダカを少しわけてもらい、子ども達と一緒にメダカ池に放流しました。現在、“メダカ池復活プロジェクト”を企画してくれている学年もあります。上久堅小の宝、メダカ池を末永く守っていきたいです。

